

## 国際化学肥料ニュース (2010年5月)

### 肥料業界の2010年5月動態

\* 5月 IFA (国際肥料工業会) が 2009年尿素生産量と貿易量統計データを公表した。

①2009年尿素の国際貿易量は3400万トン、2008年より2.9%増加した。最大の輸出国はロシアで、輸出量は500万トン、全貿易量の14%を占める。次いではサウジアラビアの350万トン、カタールの300万トン、他にエジプト、アラビア首長国、インドネシアなども輸出国である。最大の輸入国はインドで、次いではアメリカで、この2国は国際輸入量の30%を占める。

②イラン、プエルトリコ、インド、ベトナム等の国と地域において30の大型尿素プラントを建設中である。特にインド、ベトナム、パキスタン等の伝統的輸入国が尿素の自国生産に力を入れている。例えば、パキスタンでは2010年の尿素生産能力は630万トンに達し、国内需要量をほぼ満足できるとのこと。

③2010年世界に多数の尿素プラントが完成し、生産の能力が800万トン増加し、1.788億トンに達し、生産量が1.65億トンになると予測する。需要については、2010年農業関係の需要量は1.40億トン、工業等の需要量は0.16億トン、全体1.56億トン、約900万トンの過剰となる。

### 大手各社の営業業績

\* カナダの Canpotex 社は 2010年1~3月期の営業報告を発表した。塩化加里の販売量は246.4万トン、平均販売価格321.31ドル/トン。りん酸系肥料 (DAP等) 29.3万トン、平均販売価格428.30ドル/トン、液体りん酸肥料90万トン。尿素等の窒素肥料130万トン、平均販売価格343ドル/トン。営業利益7.151億ドル、税引き前の純利益4.492億ドル。

\* ブラジルのヴァーレ社は2010年1~3月の加里肥料の生産と販売数値を発表した。1~3月に塩化加里生産量は前年同期より2.7万トン減の15.8万トン、販売量は15.7万トン、前年同期より5.2万トン減。平均販売価格414.01ドル/トン。

### 5月の大口契約と輸出:

\* チュニジアのGCT社はトルコとの間にDAPおよび重過石の輸出契約を商談中、また、3万トンの重過石をブラジルに輸出した (FOB 355ドル/トン)。

\* モロッコのOCP社はブラジルとの間に5月に輸出するMAPとDAPの契約を締結した。MAPのCFR価格480ドル/トン、DAPは不明。また、ブラジルとの間にも3万トン重過石の輸出商談中、ブラジルはCFR370ドル/トン、OCP社は380ドル/トンと応酬。

一方、OCP社はタイに4万トンのMAPとDAPを商談中、決めれば、OCP社の5月りん酸肥料輸出量は21.5万トンとなる。

- \* ロシアのEurochem社は所属のLifosa工場の5月生産分8万トンDAPをすでに販売済み、その中の7.5万トンはインドに輸出する予定。もう1箇所の工場は5月に5.5万トンMAPを生産予定、こちらもほぼ全量販売予約済み。
- \* ロシアのPhosAgro社はCFR508ドル/トンでパキスタンに3万トンDAPを輸出した。
- \* アメリカのMAPとDAPの提示価格がやや高いため（MAPのCFRブラジル495ドル/トン、アルゼンチン510ドル/トン）、問合せが少ない模様。  
Keytrade社とCF社はFOB460ドル/トンでブラジルに2.5万トンのDAPを輸出した。また、CF社は5月末と6月にインドに各1船のDAPを輸出する契約を獲得した。
- \* IPCとスリランカとの間に3.6万トンの塩化加里輸出契約を締結した。価格は不明。BPCもアジアのある国との間に2.5万トンの大粒塩化加里の輸出について契約し、CFR425ドル/トンである。一方、ドイツのK+S社はUnifertを経由して、イランにFOB375ユーロ/トンの価格で硫酸加里の輸出契約をした。
- \* カナダのCanpotex社は中国の中化化学肥料との間にFOB370ドル/トンの価格で7万トン塩化加里の購買契約を締結した。
- \* インド今年のDAP輸入契約数量はすでに700万トン弱に達し、まだ足りない模様。RCFは10万トンDAPの入札を再開し、希望入札価格はCFR490ドル。一方、パキスタン今年はすでに36万トンDAPを契約し、平均価格CFR505ドル/トン。まだ、65万トンDAPの入札を残している。これらのDAPは中国商社が6月1日からの非需要期関税引下げ期間中に入札・輸入する予定。
- \* 中国尿素メーカーは7月1日～9月15日の非需要期に低関税（7%）を狙って、輸出用のために4月から尿素を港に集中する動きが活発している。5月末現在すでに100万トン、6月末まで約150万トンを各輸出港に集荷し、200万トン以上輸出するとの予想である。但し、現在バルト海と黒海の尿素FOB価格は230ドル/トンと低迷しており、予想通りに輸出できるかに対する懸念も強い。一方、中国税関の発表では、前回の非需要期（1月1日～3月31日）に120万トン尿素を輸出した。
- \* 中国DAPメーカーも同様に、6月1日～8月31日の非需要期低関税を狙って、すでに

輸出港に約 100 万トンの DAP を集荷している。また、インド、パキスタンとの間に 80 万トンの契約を締結したとの報道もある。

### 肥料プラント新規建設

- \* ブラジルの Unigel 社は Candeias にあるメタクリル樹脂のプラント生産能力の拡大工事を完成した。年間メタクリル酸の生産量を 3 万トンから 9 万トンに増加し、それに伴い、副生硫安の産出量は 16 万トンから 40 万トンに増加する予定。2009 年、ブラジル国内の硫安生産量は 22.5 万トンしかなく、輸入量は 160 万トンに達した。
- \* ブラジルの資源大手ヴァーレ社はブラジル政府から加里鉱山の開発許可を獲得したと発表。その鉱山は Sergipe 州にあり、2014 年生産開始予定、生産能力は 120 万トン/年。ヴァーレ社はブラジル唯一の加里企業、2009 年の塩化加里生産量は 72 万トン。なお、ブラジルの塩化加里は 90%外国からの輸入に依存している。
- \* アメリカ Transit 社はユタ州に可溶性加里の鉱脈を発見した。年間 200 万トンでは 25 年以上の採掘が可能とされている。その会社は鉱石採掘と塩化加里の生産に最大 24 億ドルを投資する計画である。
- \* ロシアの SNOS 社（国営石油化学工業グループの子会社）は 5 月 1 日、ロシア西部地区に 1400 トン/日の尿素生産ラインを新設することを発表した。その地区にはすでに年産 45 万トンアンモニア合成装置、年産 26 万トンと 37 万トン尿素の 2 本生産ラインがあり、今回は世界需要増加の情勢を受け、新設に踏み切った。なお、設計と建設は日本企業が担当し、2011 年完成予定。
- \* カナダある会社とインド IIFCO 社は合弁企業を設立し、ペルの塩化加里採掘・生産に総額 2 億ドルを投資すると発表した。カナダの会社はペル北部の Piura 県に加里資源を発見し、塩化加里換算で 600 万トン以上の埋蔵量を確認した。
- \* インド農協連合会（IFFCO）とヨルダンりん鉱産株式会社（JPMC）との合弁会社ヨルダンインド肥料株式会社（JIFCO）はヨルダン南部に建設中のりん酸肥料工場が今年下半期に完成し、2011 年から商業生産開始と発表した。当該工場は硫酸製造とりん酸肥料製造設備を備え、年間生産能力 50 万トンりん酸肥料（純 P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 換算）、製品は全部インドに輸出する。
- \* 5 月 30 日、バングラデシュ政府高官は中国政府がバングラデシュ政府に 5.6 億米ドル

の優遇借款を提供し、東北部のシレット市に尿素工場を建設すると発表した。生産能力 1750 トン/日、全部国内に供給する。2014 年に完成予定。

## その他

- \* 中国政府は 5 月に開催された 2010 年中国窒素肥料年會に窒素メーカーに対して M&R を通じてメーカー数を減らすよう要求した。具体的目標は 2015 年までに窒素肥料メーカーは現在の 394 社から 250 社に減らし、国際競争能力のある大型窒素肥料グループ 20 社を育成する。
- \* ロシア政府農業担当副総理は記者に対して、2010 年ロシアの穀物と豆類の栽培面積が 3000 万ヘクタール、政府が農家に化学肥料の購入に約 1.614 億米ドルの補助金を出す予定です。
- \* 5 月 25 日、アメリカ商務省が中国から輸入するりん酸加里塩類に 69.58~95.40% の反ダンピング税および 109.11% の反補助金税を徴収する最終決定を発表した。これらの製品には、二りん酸カリウム、メタリン酸カリウムが含まれ、化学肥料、工業、食品添加剤等の分野に広く使われている。
- \* 5 月 31 日夜、中国政府は天然ガスの全面値上げを発表した。平均値上げ幅は 24.9% で、6 月 1 日から執行。現在、中国の尿素原料の約 30% は天然ガスであるため、天然ガスの値上げは化学肥料の値上げを誘起する可能性があり、注意が必要である。
- \* 中国政府は 5 月 13 日に「部分産業の過剰生産能力と重複建設を抑制し、産業の正常発展を誘導するための意見書」を発表した。その中に面白いデータを公表し、注意を喚起する。
  - ①鉄鋼： 2008 年中国の粗鋼生産能力は 6.6 億トン、国内需要量は 5 億トン、生産量の約 1/4 が輸出に依存する。また、現在 5800 万トンの生産設備を新設中、2011 年は 7 億トン以上の生産能力に達し、過剰状態が益々強くなる。
  - ②セメント： 2008 年中国のセメント生産能力は 18.7 億トン、実生産量は 14 億トン。現在建設中のセメント生産ライン 418 本、生産能力 6.2 億トン、建設予定のセメント生産ライン 147 本、生産能力 2.1 億トン。そのまま放置すれば、数年後に中国のセメント生産能力は 27 億トンを超えるが、需要量は 16 億トンしかない。
  - ③板ガラス： 2008 年中国の板ガラス生産能力は 6.5 億ケース（1 ケース 50kg、5mm 厚さの板ガラス 4m<sup>2</sup> に相当する）、実生産量は 5.74 億ケース、世界生産量の約 50% を占める。また、2010 年末には生産能力は 8 億ケースに達する。
  - ④結晶シリコン： 2008 年太陽電池等に使う結晶シリコンの生産能力は 2 万トン、実

生産量 4000 トン、建設中の生産能力約 8 万トン。原料ケイ石から太陽電池までの生産過程に 1KW<sub>p</sub> の太陽電池は約 0.22KWh 電気を消費する。尚、太陽電池の約 98%を輸出に供するため、国内不足の電気等重要なエネルギーが輸出のために消耗された。

⑤アルミ： 中国の電解アルミ生産能力は 1800 万トン、世界の 42.9%を占めるが、実稼働率が 73.2%しかない。

⑥造船： 中国の造船能力は 6600 万トン、世界の 36%を占めるが、国内からの受注は 1000 万トンしかなく、70%以上は外国からの安値受注である。